

広域交通ネットワークの充実を目指して

将来的に、新幹線や高規格道路などの高速交通体系が整えば、大分県や九州地方のみならず、国内産業や国土の強靱化につながります。

全国の新幹線鉄道計画等の状況

全国で整備計画路線^{※1}の整備が進む中、「東九州新幹線」「四国新幹線」を含む11本の基本計画路線^{※2}(下図一覧)について、次なる整備計画路線への格上げに期待が高まっています。

【基本計画路線の一覧】(地図上の○数字)

路線	起点	終点
①北海道新幹線	札幌市	旭川市
②北海道南回り新幹線	長万部町	札幌市
③羽越新幹線	富山市	青森市
④奥羽新幹線	福島市	秋田市
⑤北陸・中京新幹線	敦賀市	名古屋
⑥山陽新幹線	大阪市	下関市
⑦中国横断新幹線	岡山市	松江市
⑧四国新幹線 ^{※1}	大分市	大分市
⑨四国横断新幹線	岡山市	高知市
⑩東九州新幹線 ^{※2}	福岡市	鹿児島市
⑪九州横断新幹線	大分市	熊本市



九州・四国の高規格道路の進捗状況

今後さらに高規格道路の「ミッシングリンク^{※3}解消」や「4車線化」が進んでいけば、都市間の移動時間が大幅に短縮され、あらゆる人や企業等に多様なチャンスが生まれる可能性が高まります。



【早期のミッシングリンク解消を目指す道路】
 〈全体延長〉 〈整備率〉

- ・中九州横断道路 約120km 約31%
- ・中津日田道路 約 55km 約51%
- ・九州中央自動車道 約 95km 約43%

【4車線化を目指す道路】

- ・東九州自動車道 県内延長 約140km
- 県内全線開通 (H27) 〈4車線化整備率〉約37%

【4車線化済み道路】

- ・大分自動車道 県内延長 約73km
- 〈4車線化整備率〉約100% (H17)

【長期的な視点に立ち検討を行う構想路線】
 豊後伊予連絡道路 など

※1 全国新幹線鉄道整備法に基づき整備計画が策定され、整備が進められている路線〔九州新幹線(鹿児島ルート・西九州ルート)、リニア中央新幹線、北陸新幹線、東北新幹線、北海道新幹線〕
 ※2 全国新幹線鉄道整備法に基づき基本計画が定められた路線
 ※3 道路網のうち、途中で途切れている未整備区間

大分県が目指す広域交通ネットワーク (イメージ図)



目指す未来像 ~広域交通ネットワークの充実による効果~

全国シェア44.6% (2022年) を占める九州の半導体生産がさらに拡大し半導体ユーザー企業が**立地、集積**

3本の本州四国連絡橋(しまなみ海道、瀬戸大橋、明石海峡大橋)の活用で関西・中国・四国にらくらく周遊観光

関西や中部、関東地方の大都市圏の市場が近づき農林水産物のさらなる**ブランド化**

南海トラフ地震等、大規模自然災害発生時の**広域応援・支援**が迅速・円滑に

広域交通ネットワークが整うと・・・

ハリーツ かぼすプリ おおいと和牛